

## 合唱コンクール神奈川県大会に出場、関東支部大会に向けて好発進！

富士通川崎合唱団は、9月1日（日）に開催された「第56回神奈川県合唱コンクール」に出場し、シード賞を受賞しました。そして、8年連続で上位大会である「第68回関東合唱コンクール」の出場権を獲得しました。



演奏終了後、神奈川県立音楽堂ロビーにて

### 【大会概要】

- ・日時／会場： 2013年9月1日（日） 神奈川県立音楽堂
- ・主催：神奈川県合唱連盟・全日本合唱連盟関東支部・朝日新聞社・神奈川県立音楽堂
- ・当団出場部門：大学職場一般部門（今回出場団体数20団体）

### 【演奏内容】

- ・曲目：
  - [課題曲] O magnum mysterium（偉大な神秘） 作曲：Tomás Luis de Victoria
  - [自由曲] Prelude（プレリュード） 作曲：Ola Gjeilo
  - Northern Lights（極北光） 作曲：Ola Gjeilo
- ・指揮：加藤雅子

### 【成績】「シード賞」（関東支部大会出場資格付き）受賞

※昨年度の全日本合唱コンクール全国大会出場団体に与えられる賞

### 【レポート】

「合唱コンクール」は富士通川崎合唱団の重要な行事のひとつです。今回出場した県大会、9月下旬の関東支部大会、そして11月下旬に行われる全国大会と、約3ヵ月に亘るコンクール・シーズンの開幕です。

今年のコンクールに臨むにあたり、団の内外で変化がありました。

変化のひとつは、今年度から審査の枠組みが大幅に変更になったことです。昨年度まで私たちがエントリーしていた「職場部門」と、従来別々であった「大学部門」「一般部門」が統合し同一部門として審査されることとなりました。昨年度の全国大会出場の実績から、関東支部大会への推薦は既に勝ち取っていましたが、一般部門の団体は数が多いだけでなく実力派ぞろいのため、全国大会進出は例年と比べて大変難しいものになってきました。

しかし、一方で好材料もあります。最近、新しい戦力となる団員を獲得しました。20代の若い力です！この2人の力を得て、私たちは今まで以上に瑞々しい音楽を奏でることができるようになりました。



期待の新人！

当日は、まずユニオンビルに集合し、ウォーミングアップ。そして、熱い陽射しの中、本番会場となる神奈川県立音楽堂へ移動、館内のリハーサル室



本番直前、最後の調整

で最後の調整を行いました。随所に良い音が鳴り、美しい演奏ができるのではないかと期待が膨らみます。

さて、今回演奏したのは、課題曲に16世紀を代表する作曲家トマス・ルイス・デ・ビクトリアの作品、自由曲に現在35歳のノルウェーの作曲家オーラ・イエイロの作品です。ともに歌詞は聖書を原典としているものの、前者は中世のポリフォニックな（＝対等にメロディーを歌う複数の声部を、同時に組み合わせる作曲技法の）楽曲、後者は現代の映像・環境音楽を思

わせるような楽曲という、風情や味わいが全く異なる音楽です。

本番では、練習の成果を充分出すことができました。団員の満足度が高かったのはもちろんのこと、審査員や客席のお客様からも「美しいハーモニーと流れの良い演奏だった」「安定した音楽です、次も期待しています」等良い評価をいただき、関東支部大会への弾みがつきました。

次のステージとなる関東支部大会は、2013年9月29日(日) 静岡市清水文化会館 マリナートで行われます。8年連続して全国大会への進出が果たせるよう、団員一同さらに練習を重ねて参ります。お近くの皆さまには、応援に駆け付けていただければ、大変幸せです。

◀当日のプログラム





シード賞の賞状授与



喜びの富士団長

【記事・写真提供：富士通川崎合唱団（テナー）菊井勝也】